

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2004年4月1日～2021年12月31日の間に、虎の門病院分院腎センターに入院、もしくは通院されておりIgG4関連腎臓病と診断された患者さんで、現在虎の門病院分院に通院されていない患者さん

【研究課題名】

IgG4関連腎臓病の治療反応性、予後を明らかにするための多施設共同後方視的臨床研究

【研究の目的・背景】

《目的》

IgG4関連腎臓病と診断された患者さんの背景、治療への反応、腎臓と生命の予後

《研究に至る背景》

IgG4関連腎臓病は稀な疾患であり、その治療反応性や予後について不明な点が多い

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年2月3日 ～ 2022年12月31日

【単独／共同研究の別】

金沢大学が主体の多施設後方視研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえてパスワードを付けたデータをCDに入れて簡易書留で郵送し、パスワードは別途メールで送付するという方法で金沢大学に情報を送り解析を行います。情報管理の責任者は金沢大学附属病院リウマチ・膠原内科教授 川野充弘です。

学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院分院腎センター内科部長 澤直樹のもと2027年12月31日まで保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、腎生報告書、CT 画像データ、薬歴など

【研究代表者】

金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科 講師 川野充弘

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院 腎センター内科 部長 澤直樹

【利用する者の範囲】

金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科 講師 川野充弘

金沢大学附属病院放射線科 助教 井上大

石川県立中央病院腎臓内科・リウマチ科 診療部長 藤井博

新潟大学医歯学総合病院腎・膠原病内科 助教 小林大介

長岡赤十字病院内科 部長 佐伯敬子

札幌医科大学免疫・リウマチ内科学 教授 高橋裕樹

東京大学医科学研究所附属病院アレルギー免疫科 准教授 山本元久

神戸大学大学院医学研究科腎臓内科 教授 西慎一

福岡大学医学部腎臓・膠原病内科 教授 升谷耕介

富山大学保健管理センター 教授 松井祥子

金沢医科大学血液免疫内科 教授 正木康史

東北大学病院腎・高血圧・内分泌科 講師 長澤将

高知大学医学部附属病院内分泌代謝・腎臓内科 講師 谷口義典

虎の門病院分院腎センター 部長 澤直樹

山口病理組織研究所 所長 山口裕

筑波大学大学院人間総合科学研究科分子病理学 教授 長田道夫

日本医科大学解析人体病理学 教授 清水章

京都大学大学院医学研究科腎臓内科学 教授 柳田素子

藤田医科大学医学部腎臓内科学 准教授 林宏樹

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場

合には研究対象といたしませんので、2022年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 澤直樹 代表電話番号 044-877-5111